



# 地域トピックス



これまで、山北地区まちづくり協議会では「関係人口シンポジウム」や「地域づくり楽習会」で関係人口をテーマとするなど、関係人口について学びを深めてきました。

今年度は、学んだことを実践すべく、8月13日から9月12日までの1か月間、大学生3人が中継集落に住み、地域行事に参加したり、地域の人とふれあって感じたことを冊子にまとめるインターンを行いました。

実施にあたっては、村上市が総務省から採択を受けた「関係人口創出・拡大事業」を活用し、地域外の人材を受け入れて活かすことで、持続的な地域活動につなげられるよう関係人口を構築するためのモデル事業として、市と連携し取り組みました。

大学生3人は、1か月間の滞在の中で集落の人々と深く交流し、多くの話を聞き、ともに作業することで集落住民の「想い」を聞き出し、ひとつの冊子にまとめ上げ、集落の人たちに向けて報告会を行いました。

このインターンの詳細については、次回発行の「さんぽぼ」で特集したいと思います。お楽しみに！



←しな布の糸作りを見せってもらう大学生



盆踊りの準備作業も手伝いました→



# 村上市からのお知らせ



村上市では、「むらかみファン倶楽部」を立ち上げ、ご登録いただいた方にメールマガジンで定期的に村上市の地域の様子やイベント・ボランティア募集情報などを配信しています。

村上市出身や縁のある方、旅行や仕事で定期的に村上市を訪れている方などにおすすめです。

登録は簡単で、入会金・年会費無料ですので、ぜひご登録いただき、友人・知人にもご紹介ください！また、地域のイベント情報を発信できますので、ぜひ、情報提供をお願いします！

## 【登録方法】

- ①村上市ホームページのトップページにある「むらかみファン倶楽部」をクリックし、「メールマガジン登録」へ進み、登録するメールアドレスを入力して登録
- ②右のQRコードを読み込み、表示された画面から登録するメールアドレスを入力して登録



シェアハウスの中は、細かいくずもたくさん落ちています



重たい瓦礫を片付けるのは、かなりの重労働



### 気にかけてくれる人が いる心強さ

前号で紹介した「百姓やってみ隊」の皆さんが活動拠点にしているシェアハウスが府屋地内にあります。この家も地震によって大きな被害を受けました。

内壁や外壁は剥がれ落ち、片付けなければ活動に使用できない状態となってしまいました。

隊員の皆さんからは、地震直後に当地の様子を心配して連絡をいただきました。その際、シェアハウスの状況を伝えると、2名の隊員から「協力したい」と申し出があり、片付け作業の応援に駆けつけてくれました。

また、地区内各所では、地震直後、全国各地からボランティアの皆さんが駆けつけてくださり、多くの支援をいただきました。

遠くからでも応援に来てくれる人がいるというのは、とても心強く、山北を気にかけてくれる人がいることに気づかされます。



最後は全員で記念撮影



炎天下の中、ペイント作業に集中する中学生たち

### 生徒たちに希望を 持ってもらいたい

8月17日(土)、さんぼく体験交流企業組合の主催により「アートフェスタ」が開催されました。

今回は、スクールバスに復興の願いを込めた「がんばろう山北！」とポシレンジャーのペイントを、山北中学校の生徒6人が、東京芸術大学大学院卒業生の皆さんに教わりながら描きました。

また、中学生に対して、ペイントの指導だけでなく、夢の実現のために必要なことを教えていただき、将来への希望を膨らませる生徒の姿が見られました。

### 関わり続けること

地震は大きな被害をもたらしましたが、これをきっかけとして、山北を応援しようと訪れてくれる人が現れ、私たちに力を貸してくれています。

地域づくりの担い手不足が課題とされる今、このような形でつながった人たちと、継続的な関わりを持つことが大切なのかもしれませんね！